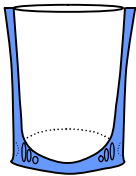
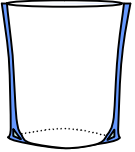


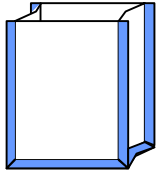
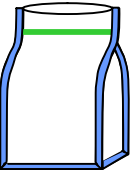
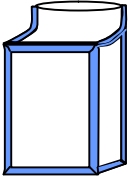
製袋品特徴一覧

— : シール箇所、 — : 半切または開口箇所、 — : チャック

名称	サイドシール袋		三方袋	
	Aタイプ	Bタイプ	三方シール	チャック付三方シール
形態図				
特徴	袋の両サイドを熱刃で溶断(フィルムを溶かし切る)した袋。雑貨などの小型包装や封筒などに用いられる。		2枚のフィルムを重ね合わせて3辺をシールした平袋。外観性・生産性に富み、小容量から大容量まで対応可能。シール箇所が平滑なため優れたシール強度を示し、高い密封性が得られる。(フィルムが3枚以上重ならない)また、フラットな形態なので高速自動給袋に適している。	
	袋下側から出し入れを行うタイプ。吊下げ部と開口部が離れているので作業性に優れている。	袋上側から出し入れを行うタイプ。少し重量のあるものや内容物の落下防止を考慮した際に用いられる。かさ張った製品には底にガゼット(マチ)を入れたタイプで対応可能。	ボイル・レトルト食品や氷、真空パックなど密封性を要するものから、雑貨、医薬品まで幅広く用いられる。	チャック(ジッパー)を設置したタイプ。再封性を要するものに用いられる。
内容物例	日用雑貨、衣類など		食品、医薬品、工業品など	顆粒物(ふりかけ)、圧縮袋など

名称	合掌袋		
	合掌	合掌サイドガゼット	合掌四方柱シール
形態図			
特徴	1枚のフィルムを筒状にし、背面と底部をシールした袋。背面シール(背貼り)を開封時の摘みとして利用できるので開封性が良い。比較的軽量で簡便な包装として使用されるが、側面の折込等を行うことで幅広く使用されている。		
	菓子類の外装や個包装に用いられることが多い。	側面にガゼット(マチ)が付いているタイプ。正面から見ると同サイズでもガゼットがある分内容量が多くなる。	の表面と側面の交わる4辺をシールしたタイプ。4辺が柱のように働く為縦方向に丈夫になり、自立性も得られる。
内容物例	菓子類、雑貨など	お茶、コーヒー、雑貨など	トレー入り食品、ペットフードなど

名称	スタンディングパウチ		底折スタンディングパウチ	
	スタンディングパウチ	チャック付スタンディングパウチ	底折スタンディングパウチ	チャック付底折スタンディングパウチ
形態図				
特徴	上下のフィルムの間底部分(底ガゼット)を挿み込んだ立体形態。自立性を有するので立てたままの陳列が可能であり、高いディスプレイ効果を有する。使用後は底部を折り込んで平らな形状にできるので、廃棄時にもかさ張らない。		底ガゼットをフィルムの折り込みで形成したスタンドパウチ。1枚のフィルムで形成されているので製袋時の柄合わせが不要となり、底部にも自由な柄印刷が可能である。また、底部のシールが不要なので底シール不良の心配がなく、少し重量のある内容物にも使用できる。	
	口栓の設置や注ぎ口の形状を変形させることが可能であるため、液体商品などの詰替え容器として用いられることが多い。	再封性を要するものに用いられることが多い。また、玩具などのディスプレイ目的で使用されるケースもある。	底部が丈夫なので大容量の商品にも対応可能。同様に口栓の設置で液体商品にも対応できる。	再封可能なチャック付。業務用の小麦粉などに。
内容物例	液体詰替え容器など	粉末・乾燥食品など	ペットフード、粉末・乾燥食品など	

名称	ボックスパウチ (NS-BXP)		
	サイドガゼット+角底	チャック+サイドガゼット+角底	サイドガゼット+上下角底
形態図			
特徴	側面と底面にガゼット(マチ)があり、内容物を充填すると立体的な箱型になる。底面がフラットなので自立性に優れ、極軽量の内容物でも安定して立つ。さらに、正面、側面、底面の各箇所ごとに別々の柄印刷が可能であるため、どの方向から見ても目立つ。口栓などの設置して液体の充填も可能で、様々な用途に使用できる。		
	1回使いきりの商品や菓子類の外装に向いている。リボン等をつけてギフト包装にも使用できる。	チャックで再封可能なので小麦粉やお茶の葉、コーヒーなど1度で使い切れない物に適している。内容物が少量になっても自立性は変わらないので保管にも便利。	上下角底で意匠性に富んだ形状。全面フラットなので、積重ねた場合にも安定する。口栓を設置すれば飲料用紙パックの代替にもなる。
内容物例	菓子類、雑貨など	粉末・乾物など	食品、雑貨など